

別表 企画提案書の評価基準及び評価点

1 業務実績（第2号様式）

評価項目		評価点				
		A	B	C		
(1) 同種・類似業務に関する実績						
①	文学賞運営に関する業務の実績について	10	5	0		
②	広報宣伝業務に関する業務の実績について	10	5	0		

- A 本業務と大半が類似した業務の実績がある。
 B 本業務と一部類似した業務の実績がある。
 C 本業務と類似した業務ではない、本業務と類似した事業の実績がない。

2 企画提案（第3号様式及び第4号様式）

評価項目		評価点				
		A	B	C	D	E
(1) 企画提案内容						
【京都文学賞の企画について】						
①	(別紙2-2) 京都文学賞の概要に掲げたコンセプトを踏まえ、京都文学賞として相応しい事業の企画が提案できているか。また、事業の実施手法は、効果的かつ実現可能な提案がなされているか。	15	12	9	6	3
【広報PRについて】						
②	優れた作品や読者選考委員の応募につながる効果的な広報・宣伝手法が取られているか。	20	16	12	8	4
【選考・表彰について】						
③	選考から表彰まで、スケジュールに基づき円滑かつ確実に実施可能な提案となっているか。	15	12	9	6	3
【受賞作品のPRについて】						
④	受賞作品のPRにおいて、受賞者への幅広い支援を企画するなど、文学賞の魅力を高める取組となっているか。	15	12	9	6	3
【受託者が提案する効果的な事項（独自提案）について】						
⑤	本事業の目的達成のための有効な独自提案か。ただし、提案限度価格内で実行可能なもので、追加予算を必要としないものに限る。	10	8	5	3	1
(2) 独自性						
	全体を通して独自性の高い優れた提案がなされているか。	10	8	5	3	1
(3) 業務執行体制						
	・本業務執行のために適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 ・進捗確認など実行委員会との連絡・調整が速やかに行える体制となっているか。 ・問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	15	12	9	6	3
(4) 趣旨の理解						
	提案が本業務の目的を十分に理解した内容となっているか。	10	8	5	3	1

- A 極めて優れている。 B 優れている。 C 妥当
 D やや不十分 E 不十分

3 見積金額（第5号様式）

評価項目	評価点				
	A	B	C		
見積金額	15	10	5		

- A 最低価格 B 最低価格との差が10%未満
 C 最低価格との差が10%以上

4 京都市公契約基本条例との関係（第2号様式）

評価項目	評価点				
	A	B			
本市区域内に本店又は主たる事務所を有する中小企業者かどうか。	5	0			

- A 該当する B 該当しない